

KIT & Tool 管理方法



1 手術中に使用した Tool を「生理食塩水または蒸留水」に浸しておきます。



2 施術が終わったら、使用した Tool と使用せず KIT に入っている Tool をすべて取り出し、「アルコール」に浸して洗浄します。
Rubber に装着されている Tool を、長期間 KIT から取り出さずに、保管時に滅菌の過程で発生した湿気が原因で腐食が発生することがありますので、必ず使用していない Tool も一緒に洗浄してください。(最低3か月に1回以上は必要) 洗浄時過酸化水素の使用を禁じます。過酸化水素にさらした場合、Laser marking と Anodizing が変色することがあります。



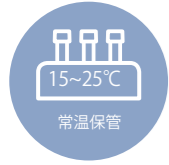
3 血痕や異物が残らないように蒸留水や流水できれいに洗浄します。



4 乾燥した布や温風で水分を完全に除去します。



5 水分を除去した Tool は、KIT case に Setting します。(このとき Color coding を参照すると便利)



6 Setting が終了した KIT は Autoclave で乾燥 (温度: 132℃、時間: 15分) させた後、常温で保管してください。

※ 注意: 手術後に使用したすべての器具は、直ちに洗浄し、しっかり乾燥させた後、保管してください。なお、KIT は、手術の直前に再消毒されることをお勧めします。(温度: 132℃、時間: 15分) KIT の製品保証期間は、製品開封後1年であり、drill 類の使用回数の保証は50回です。

- 製品の使用にあたっての注意事項は、取扱説明書などをご確認の上、正しくお使いください。
- 本カタログ掲載の写真ならびに関連製品は、改良などによりお届けする製品と異なる場合があります。
- また、製品の仕様、価格等は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログは2016年9月現在、弊社にて通常在庫品としてお取扱いのある製品のみを掲載しています。
- 他仕様、使用方法等についてはお問い合わせください。



* Taper Kit「新パッケージデザイン」販売予定 (2016/11月~)
※ 構成品 (ツール) の変更はございません。

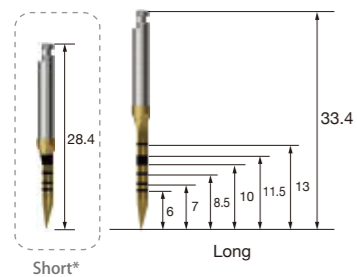
TAPER KIT

テーパード形状のインプラント『Ⅲ Type』専用の **Surgical KIT**



テーパード形状のインプラント III Type 専用の Surgical KIT

テーパードフィクスチャー形状に合わせたドリルで構成されており、また、上段にサイズごとのドリリングガイドラインを表記しており、ラインに沿ってドリリングすれば簡単に手術が可能になる。骨質別に手術が容易にできるドリルの強度に優れた材質を用いており切削力と耐久力に優れた KIT である。



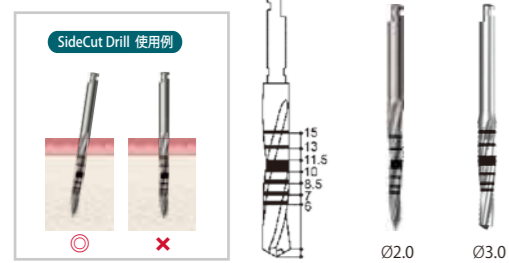
【コントラ用】 Guide Drill (Lance Drill)

- ・イニシャルドリリングとして骨に起始点を形成する為に使用
- ・ドリリングを通して骨密度を測定
- ・code: AGDLC (077g)
- ※ショートは別途販売 (code: AGDSC)



【コントラ用】 Twist Drill

- ・フィクスチャーの長さ別に5本で構成されている
- ・ドリルの長さはフィクスチャーの長さと同じ長さを使用
- ・code: 別途表記参照 (4ページ)



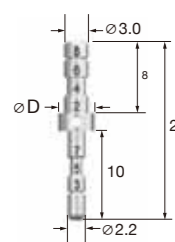
【コントラ用】 SideCut Drill

- ・02.2 ツイストドリルでドリリング後、方向の修正時に使用
- ・抜歯窩とのリッジ部削除時に使用
- ・修正したい方向に傾けながらドリリング
- ・code: OSLMD20L (D: 02.0 / 077g), OSLMD30L (D: 03.0 / 077g) *追加仕様
- ※方向が不確定では垂直的にドリリングしてしまう為、注意が必要



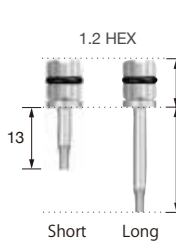
【コントラ用】 Drill Extension *形状変更品

- ・ドリル及びその他ハンドピース用ツールの長さを延長 (+16.9mm)
- ・Straight から Taper Body に形状が変更となり、視野確保が容易
- ・内部に O-ring が付いているため挿入に便利
- ・ドリルシャフト部 (柄) とエクステンションの平坦面と連結する
- ・code: ODE ※旧 code: ADE
- ※連結時に過度な力が加からないようにする事



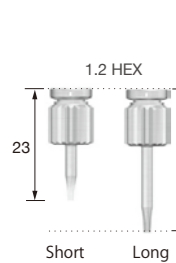
【手動】 Parallel Pin

- ・骨のプレパレーションの方向と位置確認をする時に使用
- ・アパットメントの直径カラー予測可能
- ・02.2 ツイストドリルドリリング後に小径測を挿入して確認
- ・03.0 ツイストドリルドリリング後に大径測を挿入して確認
- ・Code (kit 構成): APP400 (D: 04.0 / 2本入り), APP500 (D: 05.0 / 2本入り)
- ※06.0 は別途販売 (code: APP600)



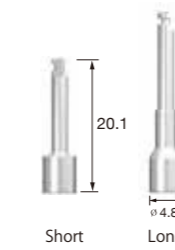
【トルクレンチ用】 Torque Driver

- ・トルクレンチ用ドライバーであり、S(ショート) / L(ロング) の2本構成
- ・マウント、カバースクリュー、アパットメント等の着脱に使用
- ・チップホールディング機能なし
- ・最大トルク 35Ncm まで有効
- ・code: TRHD12S (ショート), TRHD12L (ロング)



【手動】 Hand Driver

- ・手動用ドライバーで S(ショート) / L(ロング) の2本構成
- ・マウント、カバースクリュー、アパットメント等の着脱に使用
- ・チップホールディング機能があり、スクリュー調整に便利
- ・code: AHD12SH (ショート), AHD12LH (ロング)
- ※US Mini カバースクリュー: 0.9Hex 使用
- ※US Esthetic ABT, US Esthetic, Low ABT: 2.0Hex 使用
- ※フィクスチャーの埋入には使用しない事



【コントラ用】 Simple Mount Driver

- ・コントラ用ドライバーであり、フィクスチャー埋入時に使用
- ・アンブルケースから口腔内へのフィクスチャーの移動及び埋入に使用
- ・構成: S(ショート) / L(ロング) 各1本ずつ
- ・code: ASMDL (ショート), ASMDL (ロング)



【レンチ用】 Simple Mount Extension

- ・アンブルケースから口腔内へフィクスチャーを移動する際又は、トルクレンチ用ドライバーでフィクスチャー埋入時に使用
- ・埋入の際に、シンプルマウントに連結して使用
- ・構成: S(ショート) / L(ロング) 各1本ずつ
- ・code: ASMES (ショート), ASMEL (ロング)



【コントラ用】 Taper Drill

- ・フィクスチャーの直径及び長さ別に20本で構成されている
- ・シャフト部のカラーコーティングはフィクスチャー直径を表示
- ・カラー: 03.5 (黄) 04.0 (緑) 04.5 (青) 05.0 (赤)
- ・ドリルチップの長さは次項参照
- ・code: 別途表記参照 (4ページ)



【コントラ用】 TS NoMount Driver

- ・ノーマウントフィクスチャー (マウントなし): 埋入時にアンブルケースから口腔内への移動及び埋入に使用
- ・シンプルマウントフィクスチャー (マウントあり): 埋入時にマウントを外した後でフィクスチャーの深度調整する際に使用
- ・構成: ロングのみ (TS Mini 用, TS Regular 用 各1本ずつ)
- ・code: TSNMDML (ミニ), TSNMDRL (レギュラー)
- ※旧 code: GSNMD32L (ミニ), GSNMD35L (レギュラー)



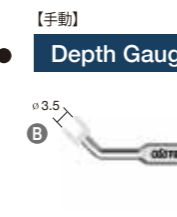
【トルクレンチ用】 TS Fixture Driver (Mount Driver) *形状変更品

- ・埋入時、マウントを外した後フィクスチャー深度を調整する際に使用
- ・先端の突出でフィクスチャーを容易にガイドし、ボディ部分の hex によりフィクスチャー内部の Hex 方向の調節が可能
- ・フィクスチャー内部と等しい形状で高いトルク値をかけてもフィクスチャー内部は変形しない
- ・フィクスチャーの埋入及びマウント分離後の抜去用
- ・構成: ロングのみ (TS Mini 用, TS Regular 用 各1本ずつ)
- ・150Ncm 以上のトルク可能
- ・code: GSMFDL (ミニ), GSRFDL (レギュラー)



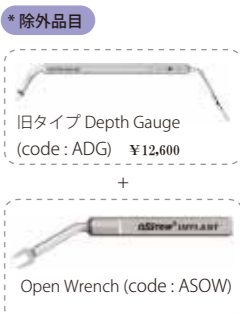
【トルクレンチ用】 SS Fixture Driver *形状変更品

- ・フィクスチャーの埋入及びマウント分離後の抜去用
- ・埋入時にマウントを外した後でフィクスチャーの深度調整する際に使用
- ・フィクスチャー内部と等しい形状で高いトルク値をかけてもフィクスチャー内部は変形しない
- ・150Ncm 以上のトルク可能
- ・構成: ロングのみ (SS Regular・Wide 共通で使用可能)
- ・code: SSRFDL (ロング)



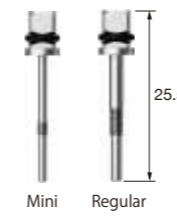
【手動】 Depth Gauge *形状変更品

- ・Open Wrench と Depth Gauge を一体化し、Tool の機能を単一化
- A: ドリルの長さ又はドリルで形成したホールの深さを測る際に使用
- B: 骨質が弱い場合、シンプルマウント分離時にフィクスチャー回転防止のためシンプルマウント部を固定させる。30° ネックアングルで、口腔内挿時に便利
- ・code: OSDG
- ※従来の Depth Gauge 及び下段の Open Wrench は形状一体化により構成品より除外)



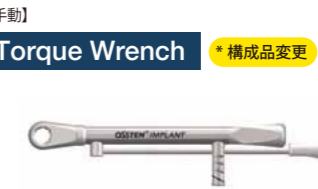
【コントラ用】 Taper Cortical Drill *形状変更品

- ・テーパードリル使用後、骨状態がハードボーンの場合に使用するドリル
- ・フィクスチャー径別に専用ドリル構成
- ・下段のマーキングラインは 8.5mm 以下のフィクスチャーを埋入した際に使用
- ・上段のマーキングラインは 10mm 以上のフィクスチャーを埋入した際に使用
- ・code: 別途表記参照



【手動】 Removal Tool for Fixture Mount

- ・埋入時、マウントをフィクスチャーから外す際、フィクスチャーにマウントが噛み込み、外れなくなった場合に使用。
- ・構成: Mini / Regular 各1本ずつ
- ・code: HRFR (レギュラー), ERFM (ミニ)
- ※トルクレンチ対応であるが、大抵の場合、指で回転させるだけでフィクスチャーからマウントが外れることが多い。
- ※レギュラー用、ミニ用と分かれている為、使用する際に注意すること。



【手動】 Torque Wrench *構成品変更

- ・インプラントを埋入後、より精密に埋入深度を調整するために使用
- ・アパットメントの着脱に使用
- ・10~40Ncm の測定可能
- ・code: TW30B

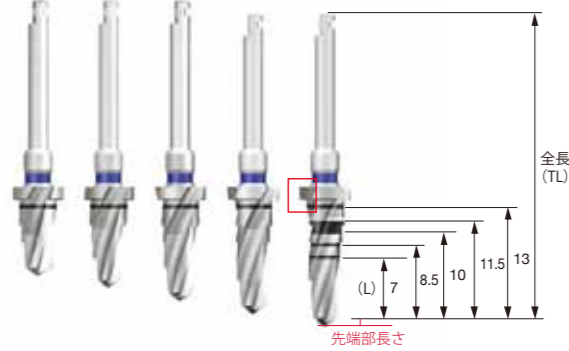
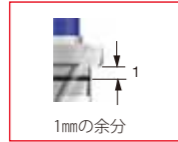


TAPER KIT Specification

テーパークットのドリル製品仕様

1 Taper Drill

φ4.5



□ Taper KIT構成

L	TL	Spec.			
		φ3.5	φ4.0	φ4.5	φ5.0
6	30.5	TPD3C3506	TPD3C4006	TPD3C4506	TPD3C5006
7	31.5	TPD3C3507	TPD3C4007	TPD3C4507	TPD3C5007
8.5	33	TPD3C3508	TPD3C4008	TPD3C4508	TPD3C5008
10	34.5	TPD3C3510	TPD3C4010	TPD3C4510	TPD3C5010
11.5	34.5	TPD3C3511	TPD3C4011	TPD3C4511	TPD3C5011
13	36	TPD3C3513	TPD3C4013	TPD3C4513	TPD3C5013
15	38	TPD3C3515	TPD3C4015	TPD3C4515	TPD3C5015
先端		0.8	0.9	1	1

- ・フィクスチャーの直径及び長さ (7 mm~13 mmのみ) 別に 20 本で構成
※構成品以外の「6 mm・15 mm」は別途販売
- ・シャンク部のカラーコーティングはフィクスチャー直径を表示
- ・カラー：φ3.5 (黄) φ4.0 (緑) φ4.5 (青) φ5.0 (赤)

□ Taper KIT構成

L	TL	Spec.		
		φ2.0	φ2.2	φ3.0
6	30.5	-	2D2206LC	3D3006LC
7	31.5	TDE2007LC	2D2207LC01* (旧: 2D2207LC)	3D3007LC01
8.5	33	TDE2008LC	2D2208LC01* (旧: 2D2208LC)	3D3008LC01
10	34.5	TDE2010LC	2D2210LC01* (旧: 2D2210LC)	3D3010LC01
11.5	34.5	TDE2011LC	2D2211LC01* (旧: 2D2211LC)	2D3011LC01* (旧: 3D3011LC01)
13	36	TDE2013LC	2D2213LC01* (旧: 2D2213LC)	3D3013LC01
15		TDE2015FNLC	-	2D3015FNLC01* (旧: 3D3015FNLC02)
先端(mm)		0.6	0.6	0.9

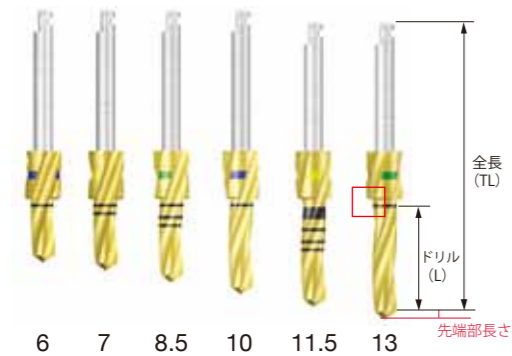
- ・ドリルの直径変更内容：旧 φ2.0 → 新 φ2.2
- ・構成品以外は別途販売
※コード番号変更

□ Taper KIT構成

Spec.	Mini	Regular		
	φ3.5	φ4.0	φ4.5	φ5.0
Code	TCD4C35	TCD4C40	TCD4C45	TCD4C50

- ・テーパードリル使用后、骨状態がハードボーンの場合に使用するドリル
- ・フィクスチャー径別に専用ドリル構成
- ・上段の Marking Line は 8.5 mm以下のフィクスチャーを埋入した際に使用
- ・下段の Marking Line は 10 mm以上のフィクスチャーを埋入した際に使用

2 Twist Drill



3 Taper Cortical Drill



テーパークットの使用例

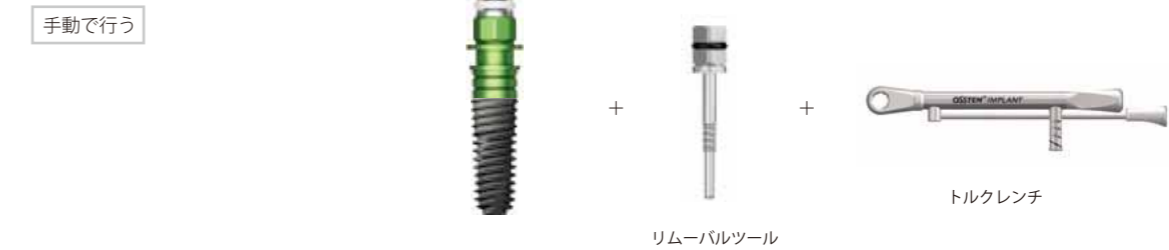
埋入時



マウント除去時



マウントが取れない時



ノーマウントの場合



深度調整



TAPER KIT Sequence

テーパークット埋入手順

The drilling a TSIII fixture using the Taper KIT



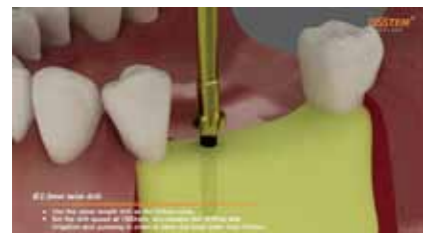
1 Lance Drill

インプラント体を予定した位置に正確に埋入するために、ランスドリルを使ってドリルホールを決定します。



7 Pick up the Fixture

埋入するフィクスチャーをアンブルから取り出します。



2 Twist Drill

埋入する位置にドリリングを通して骨密度を測定しながら形成します。



8 TS Fixture

インプラント体を埋入します。



3 Depth Gauge

ドリルで形成したホールの深さを測ります。



9 Open Wrench

マウントドライバー及びオープンレンチを使用し、マウントを外します。



4 Parallel Pin

骨のプレパレーションの方向と位置を確認します。



10 Hand Driver

ハンドドライバーを使ってアンブルよりカバースクリューを取り出します。



5 Taper Drill

インプラント体の直径を考慮して小直径のドリルからドリリングを始めます。



11 Cover Screw

取り出したカバースクリューをフィクスチャーに連結します。



6 Taper Drill

ドリルの直径を変えながらドリリングを続けます。



12 Suture

縫合します。

Drilling Sequence Taper Drill Taper kit

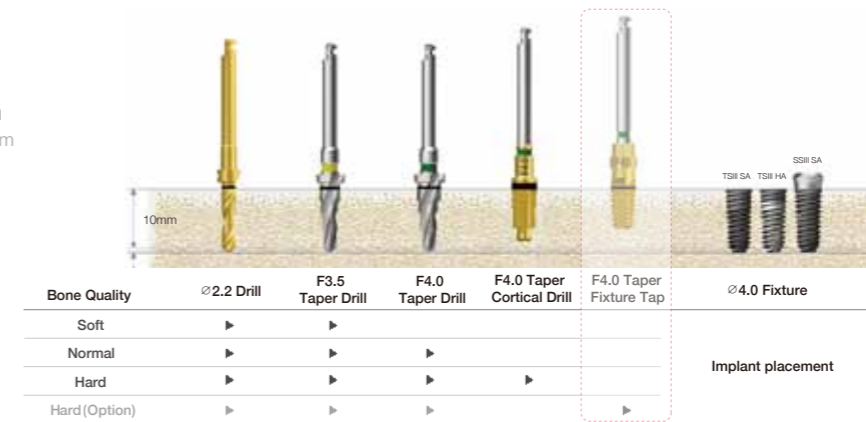
TSIII SA/HA | SSIII SA | Fixture

※ 推奨埋入トルク: 40Ncm以下
(HA表面は、35Ncm以下)

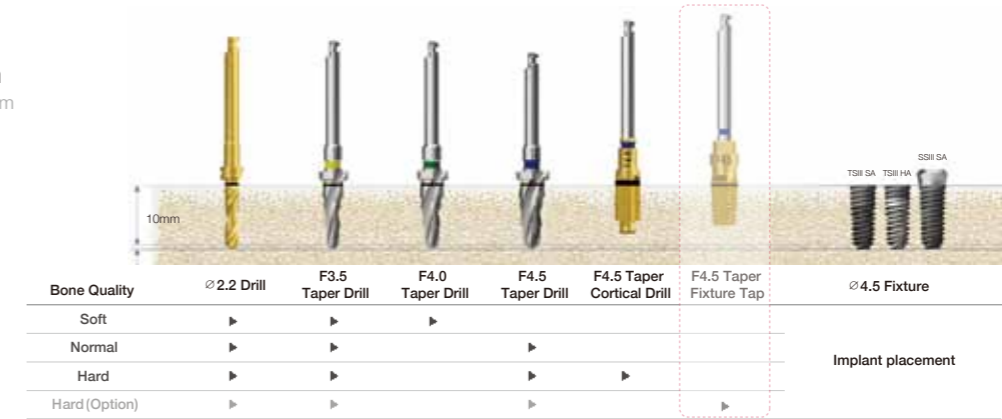
Ø3.5mm
Length: 10mm



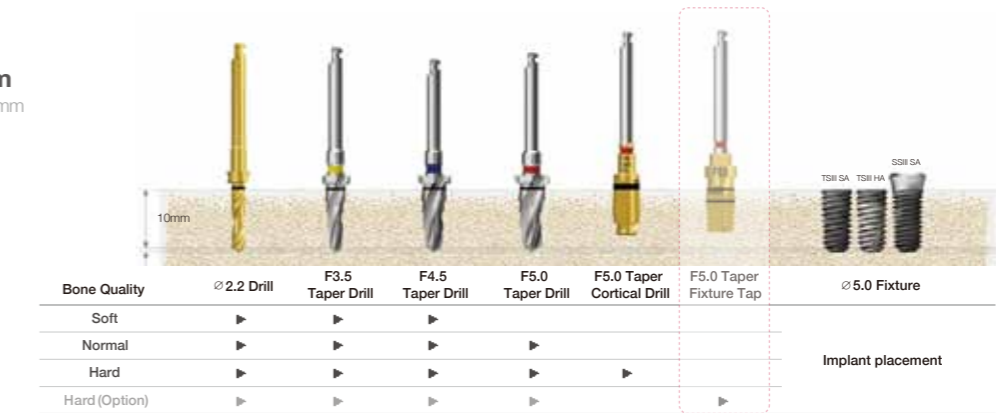
Ø4.0mm
Length: 10mm



Ø4.5mm
Length: 10mm



Ø5.0mm
Length: 10mm



※ TS Fixtureの場合、ノーマル以上の骨質ではレベルより1mm深く、ソフトは固定力維持の為、レベルに合わせて埋入する事をおすすめします。

※ Hard Bone (Option)で使用する「Fixture Tap」は、エンジン (25rpm推奨) 又は、Mount Extensionの締結後、Torque wrenchでご使用ください。

(→ Ø5.0のFixtureの場合、マーキング線の下段線はH:7mm以上、上段線はH:8.5mm以上のFixture 埋入基準) / *Fixture Tap: Taper kit 構成外品目

※ 注意) Hard Boneで、HA Fixtureを埋入する際、(HAコーティング層の亀裂や剥離が生じる可能性がある為) トルクは「35Ncm以下」に設定してください。